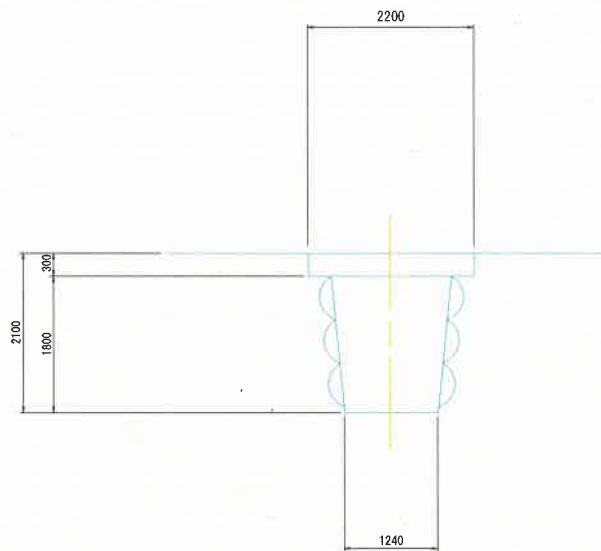
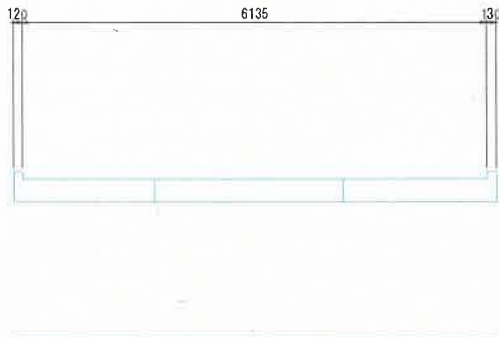


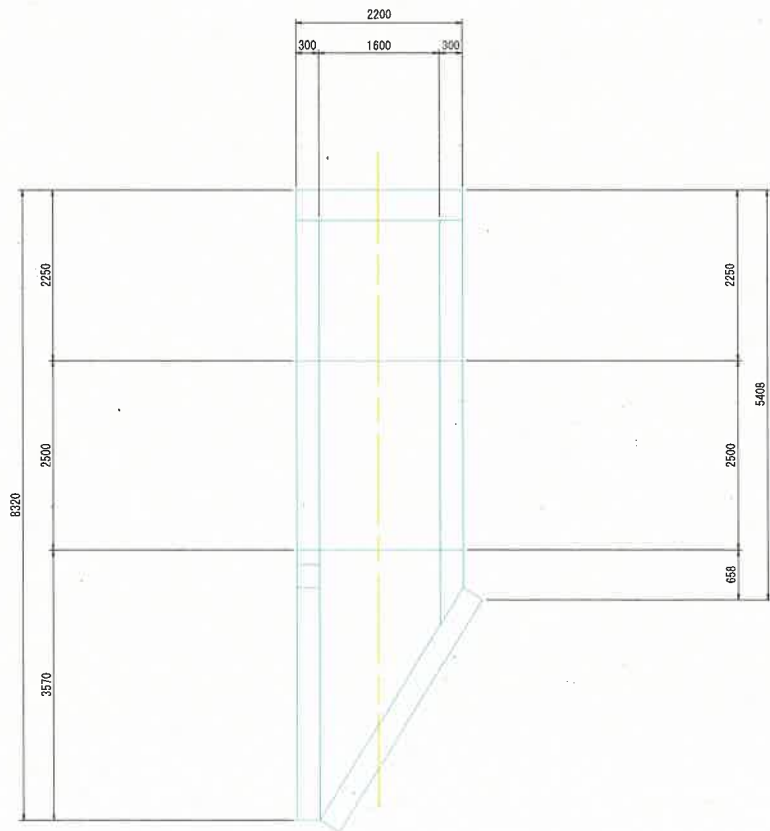
側面図



断面図



平面図



橋梁諸元

橋梁名	浦尻橋
路線名	市道小筑紫大海線
河川名	普通河川 浦尻川
設計荷重	TL-14
構造形式	単純RC床版橋
橋長	2.45m
有効幅員	5.65m
架設年度	1970年
基準	道示1964年(S39)

注) 設計荷重は「鉄筋コンクリート道路橋設計示方書 昭和39年」の二等橋とした。

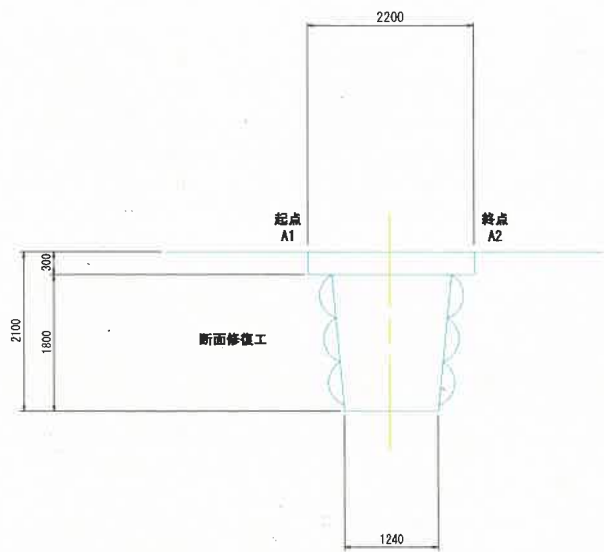
浦尻橋

宿毛市				
工事名称	令和7年度 道メ 第3号 市道小筑紫大海線（浦尻橋）橋梁補修工事			
図面名称	浦尻橋 寸法図	縮尺	1：50	
路線河川名	市道小筑紫大海線			
工事箇所	高知県 宿毛市 小筑紫町大海			
設計種別	実施設計	図 面 番 号	1	
事務所名	宿毛市土木課		4	
会 社 名				

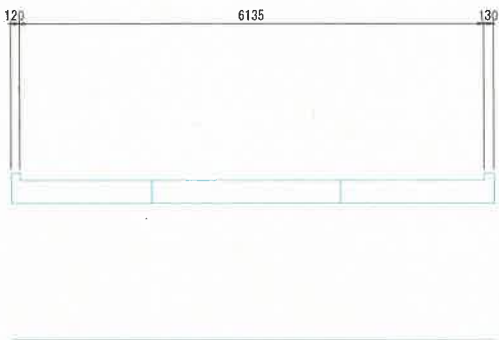
橋梁補修計画図
(浦尻橋)

S=1:50

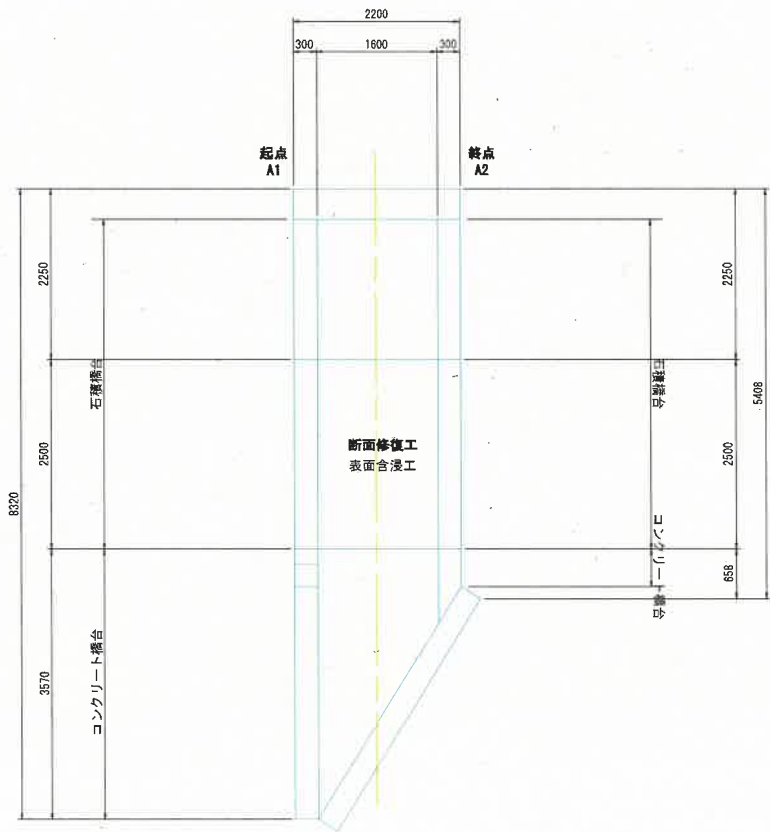
側面図



断面図



平面図



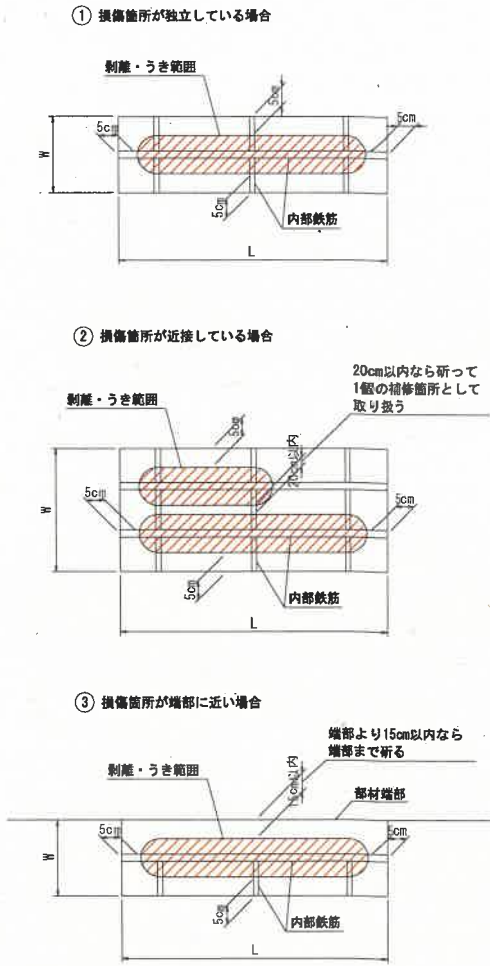
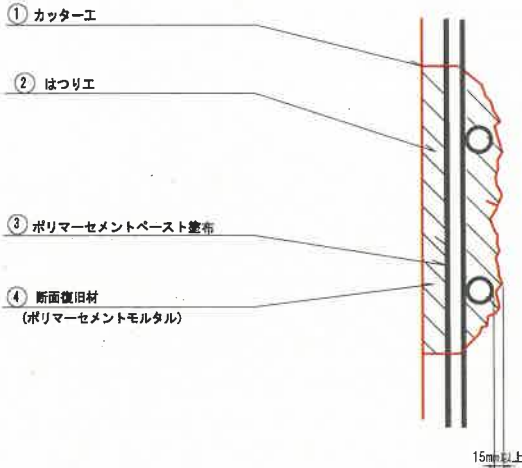
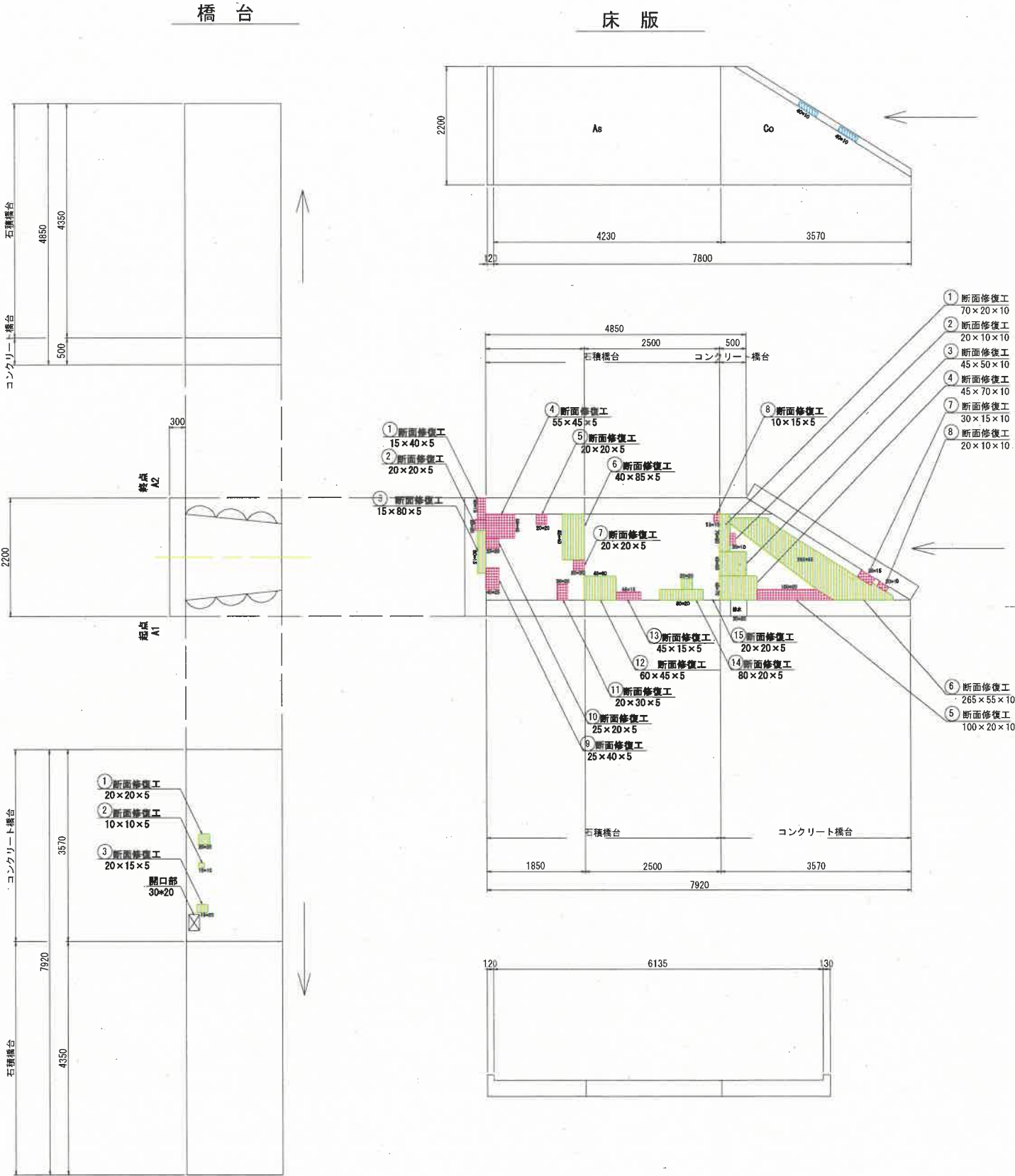
浦尻橋

宿毛市			
工事種別	令和7年度 道メ 第3号 市道小筑紫大海線(浦尻橋)橋梁補修工事		
図面名称	橋梁補修計画図(浦尻橋)	縮尺	1:50
路線河川名	市道小筑紫大海線		
工事箇所	高知県 宿毛市 小筑紫町大海		
設計種別	実施設計	図面 番号	2 4
事務所名	宿毛市土木課		
会社名			

断面修復・ひびわれ充填注入工
(浦尻橋)

断面修復（左官工法） S=1:30

断面修復工施工要領 S=1:10



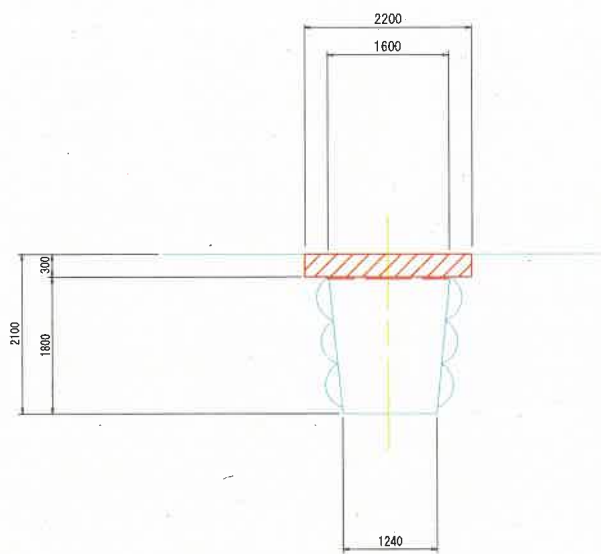
施工時における留意事項
1) はつり作業前には、剥離の原因となるフェザーエッジ対策としてカッターで1cm程度の切り込みを入れる。
2) はつり量は概ね3cm程度を目安とし、鉄筋の周りは素地調整の作業空間を考慮して鉄筋の裏側1.5cm程度まではつる。また鉄筋の発錆が続いている場合は、はつり範囲を広げ発錆範囲をすべてはつり出す。
3) 鉄筋の素地調整にはサンドブラスト等を使用し、使用できない場合や鉄筋裏面はワイヤーブラシやサンドペーパーでケレン作業を行い、裏側の状況チェックに鏡用ミラーを使用するなど錯視としを確実に行う。
4) はつり出した鉄筋には防錆材を塗布し、また断面修復材には付着性の高いポリマーセメントモルタルで埋め戻す。

浦尻橋

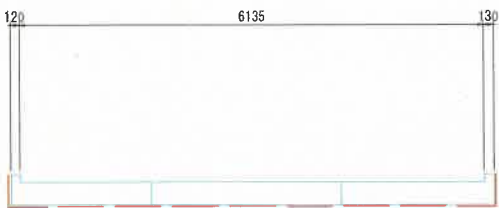
宿毛市				
工事種別	令和7年度 道メ 第3号 市道小筑紫大海線（浦尻橋）橋梁補修工事	縮尺	図示	
図面名称	断面修復 ひびわれ充填注入工	縮尺	図示	
路線河川名	市道小筑紫大海線			
工事箇所	高知県 宿毛市 小筑紫町大海			
設計種別	実施設計			
事務所名	宿毛市土木課	図面番号	3	4
会社名				

表面含浸工（浦尻橋） S=1:50

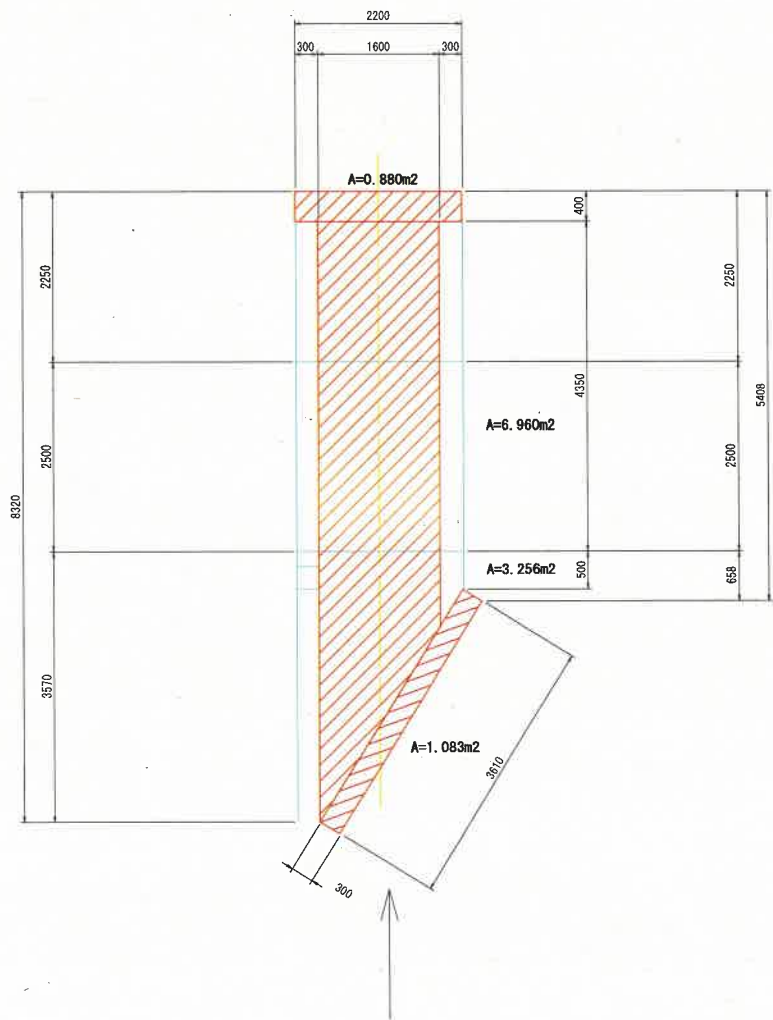
側面図



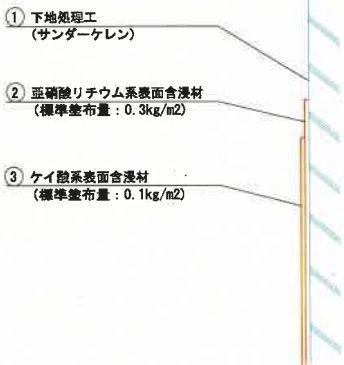
断面図



平面図



表面含浸工 S=1:2



浦尻橋

宿毛市			
工事種別	令和7年度 道メ 第3号 市道小筑紫大海線（浦尻橋）橋梁補修工事		
図面名称	表面含浸工（浦尻橋）	縮尺	図示
路線河川名	市道小筑紫大海線		
工事箇所	高知県 宿毛市 小筑紫町大海		
設計種別	実施設計	図面 番号	4 4
事務所名	宿毛市土木課		
会社名			